



# 苦工同窓会 関東六華会

## 会報 第21号 2024.4.20

発行責任者

石堂 鉄雄

編集委員

櫻井 武春 首藤 真史

大澤 哲司 瀬谷 政夫

### ”母校の創立 100 周年を越えて 新たなステージへ”

「関東六華会」会長 石堂 鉄雄 (土s39)

関東六華会会員の皆様におかれましては御健勝のこととお喜び申し上げます。同窓会支部活動に対し、日頃温かいご支援ご協力を賜わり、心から厚く感謝申し上げます。

10月14日、母校苦工の100周年記念式典並びに記念祝賀会が盛大に開催され、出席して参りました。

会員の皆さまのご協力で篤志寄付者として「関東六華会」が感謝状を授与しました。また、当会員の蒲原勝美画伯が描かれて関東六華会として寄贈した絵画「北の岬」が会場に掲示されて式典に華を添えていました。とても感動的で幸せな1日でした。その時の模様と感想を関東六華会ホームページに載せていますのでご覧下さい。

令和5年度は感染症法の改正に伴い行動制限も緩和され、計画された以下の活動を実施しました。

① 「幹事会、四役会」事業計画通り各4回実施

② 「総会・懇親会」の開催

6月17日に銀座ライオン7丁目店での総会・懇親会には会員と来賓を含めて、56名の皆様にご出席頂き開催しました。なお、役員改選につきましては100周年記念事業終了を待ち、この6月に開催される総会で行うことにいたしました

懇親会には、来賓として苦小牧市東京事務所笹村所長、西高関東榎前会遠藤会長、苦高専榎前会関東支部大竹支部長、苦東関東白山会林事務局長の皆様にご出席いただき、立食パーティ式で本部に先駆けての創立100周年を祝い、盛会のうちに開催されました。参加者には創立100周年記念として制作した記念のバスタオルを配布しました。

③ 「関東六華会親睦ゴルフコンペ」の開催

10月2日、12名の参加で晴天下、南総ヒルズ CC にて開催、恒例の前夜祭(前泊)もあって大いに盛り上がり楽しめました。

④ 「散策の会」の開催

11月18日、「散策の会」を12名の参加で開催され、「八王子千人同心」をテーマに前編として、武田家滅亡時に甲斐脱出を果たした信玄の息女「松姫」と「八王子千人同心」の歴史を中心にゆかりの地を訪ねて散策しました。

皆様も是非ご一緒頂き懇親を深めませんか。

⑤ 「忘年会の開催」

12月2日に「忘年会」を開催しました。20名の有志がお馴染み「銀座ライオン7丁目店」に集まり、令和5年の締めと創立100周年記念式典、記念祝賀会の報告で大変盛り上がりしました。

以上令和5年度の報告でした。

毎年「総会・懇親会」等各種行事には若干名の初参加の方をお迎えしており、幹事会としましては力強い限りです。皆様に支えられての同窓会、1人でも多い会員の皆様に目を向けて頂けるような会に向けて、幹事一同更に努力してまいります。

令和6年度の予定は、ご案内の通り6月22日(土)に「総会・懇親会」の開催。11月には、昨年の続編「八王子千人同心と新撰組」の歴史散策を開催予定。10月7日(月)には「第4回関東六華会親睦ゴルフコンペ」の開催。11月末には「忘年会」の開催も予定しております。開催が近づきましたらホームページでご案内しますので、会員並びに卒業生の皆様のご参加をお待ちしております。

関東六華会は「母校の誇りと同窓会の絆」を信条として「明るく楽しく人が集まり、助け合いのできる同窓会」を目指して活動をして参りますので、引き続き皆様のお力添えをよろしくお願い申し上げます。



創立100周年記念事業に携わって  
苦工同窓会幹事長 柏倉 幸一 (工化 s45)

私にとってこの令和5年度は、本校との縁を深く感じる1年となりました。10月14日(土)式典・記念碑除幕式・祝賀会が盛会の内滞りなく執り行われたことは、大変喜ばしく思っております。

同窓会本部役員として平成19年に職場の上司の後を引継ぎ会計監査に、令和2年4月には紺屋前幹事長の後任として幹事長に就いた訳ですが、3年後には創立100周年と言う一大事業を控えての就任でした。

同じ100周年事業を私が43年間勤めていた企業に於いても、在籍時の平成22年9月創業100周年を迎え、祝賀会の担当として来賓者の対応として行政・経済界の担当窓口の方々と打ち合わせの矢先、2週間後に迫る中であって母親を亡くすと重なりましたが廻りの方に支えられ無事終えることが出来ました。

何かの縁でしょうか、母校の100周年にも携わることになり、令和2年10月14日開催の第1回協賛会設立準備委員会を皮切りに3年10月5日(火)PTA・定時制後援会・同窓会・学校の4つの組織で構成する「苦工100周年記念事業協賛会」が設立されスタートいたしました。

協賛会の主な業務として、事業内容の確立と事業を達成するための資金の確保である募金活動です。その募金活動に必要な口座の開設では企業・個人の寄附金の免税措置を受けるべく、税務署や郵便局に幾度となく足を運び知識の無い中で、一度は壁に当たり認可が受けられない状況にもなりましたが、再度地域の郵便局の方に指導をいただき開設することが出来前進が図られました。

令和4年12月には、「募金趣意書」を全国の17,000名の同

窓生・企業1,500社に送付いたしましたが、住所変更・不明者などにより4,000通ほどが返却となりました。募金活動は12月から半年余りの間地域毎に役員が企業訪問を行い1,350件の方々より温かい浄財が寄せられ、当初計画を上回りました。その結果計画していた事業の他、再度要望を伺い追加項目として4件、トータル8件の事業を実施することが出来ました。

一番大きな事業として、校舎正門に「希望の丘」と題し在校生に3つのデザインの中から選考していただいて完成した、高さ3,5mステンレス製のモニュメントは、未来永劫生徒達の正に希望の塔になることでしょう。

さて私毎、募金活動の終盤に体調を崩し一ヶ月ほど入院治療しなければならず、この度も10年前と同様残り僅かになった日程の中、役員関係者の方々に助けられて、復帰後ラストスパートを掛け滞りなく終えることが出来安堵いたしました。

今後は、募金の収支決算を税務署に報告、協賛会への報告承認、記念誌の発行に向け購入希望者の案内・集計など、まだまだ事後処理に追われる日々です。

今回の事業として「学校教育環境整備と教育活動の助成」に力点を置き、充実を図って来ました。次の10年、50年、100年へと活かしていただければと思い同窓会としても、母校苦工との今後益々の発展を祈り、皆様方の力強い支援が今後も続くことを願っています、お礼と報告といたします。



令和5年度 苦工同窓会支部 関東六華会総会・懇親会 6月17日(銀座ライオン7丁目店6階銀座クラシックホール)



役員による活動報告

幹事(司会):松崎(土 s43) 副会長:吉田(電 s39)

会長(議長):石堂(土 s39)

幹事長:篠原(土 s43)

監査役:伊藤藤(電 s38)

挨拶・乾杯 美術団体「等迎会」会長 初参加の会員 最年少の会員



資料を見入る会員の皆さん



川上(工化 s28)

蒲原(電 s38)

高橋(建 s39)

松田(土 h04)

昭和41年卒業以前・来賓



上段左から 高橋(建s39) 吉田(電s39:副会長) 三橋(工化s41:会計) 蒲原(電s38) 藤谷(土s39) 館(機s33) 中本(電s39) 駒米(電s36) 伊藤(電s38:監査役)

中段左から 瀬川(機s35) 村田(電s40) 山際(電s41) 早坂(土s35) 武田(電s35) 南部(建s41:幹事) 山崎(工化s35) 岡山(機s35) 阿部(機s36)

下段左から 櫻井(通信s38:幹事) 坂本(電s31) 林 苦東高白三会東京支部 事務局長 川上(工化s28) 石堂会長(土s39) 遠藤 苦西校 関東樽前会 会長 笹村 苦小牧市東京事務所 大竹 苦高専 樽前会関東支部 支部長

昭和42年卒業以後



上段左から 門田(電子s45) 会津(建s43) 林(土s42) 瀬谷(機s50:幹事) 松山(電子s56) 三浦(機s60:幹事) 小野寺(電s45:幹事) 松田(土h04) 首藤(電s43:幹事)

中段左から 福澤(機s45:副幹事長) 橋本 雅(電子s43:幹事) 大澤(電s43:幹事) 松平(機s43) 菅原(機s45:幹事) 佐々木(機s45) 千葉(建s44) 熊倉(電s43) 鈴木(電子s49) 三上(土s49) 佐藤(工化s43)

下段左から 橋本 拓(電子s43) 藤井(電子s43) 松崎(土s43:幹事) 野本(機s43:幹事) 篠原(土s43:幹事長) ニッ屋(機s42) 松原(土s43) 田中(建s43)



アトラクションの部:大勢いる中から3人の役者が登場

恒例の校歌斉唱・中締め

—またの再会を—

## “母校に想う”-先輩が残してくれたもの- 野本 雅起 (機 s43)

大正12年3月に創立され令和5年に100周年を迎えた母校は数多くの卒業生を社会へ輩出し高度成長期を支えました。

その時代の企業は高卒を求め、高卒は企業の中核を成す時代でありました。同窓会で諸先輩の経験を伺うと、高卒がもてはやされた時代の中で、それぞれの企業で大変大きな功績を残された先駆者と感じました。同じ企業の中で先輩が作った道を後輩が受け継ぎ更に次の世代へ繋げていく、そんな形で苦工の伝統と絆が繋がった事例もあったでしょう。

私が社会へ出た頃は採用の主流は高卒から大卒へ移行する過渡期でありましたが、それでも入社した会社は苦工卒としては、先輩が41年卒(2名)、42年卒(1名)と続き私達43年卒が3名。それ以降は会社の規模の関係で新卒の採用は無くなりましたが、私自身の印象は採用試験や入社後の業務評価において先輩の功績の恩恵を授かっているな、と感じた事が多々ありました。そんな先輩の姿を追いかけ努力したものでした。

今は大卒が主流になり、工業高校生卒の立つ位置は難しくなっていると思いますが、諸先輩にはそれまでに関わった企業にまだまだ影響力を持った方がいらっしゃると思います。そんな先輩方が後輩の就職・求職等をサポートして、自分が築いてきた道を後輩へ繋いでいく、その結果として社会・企業に苦工魂が脈々と受け継がれていく、総会・懇親会・忘年会等で同窓生と歓談していると、そんな姿が想い浮かんで来ます。

そしてもう一つ、やき入れの功罪です。

私の高校生活は汽車通学そして級友同士は初顔合わせ、と云う中学までとは全く異なる環境と緊張の中でスタートしました。そしてその時代、やき入れは常態化していました。休み時間に上級生が教室に来て怒鳴りながら頭上を椅子が飛んでいく、帰りの列車では最後尾の車両に集められお説教など。

期待して通いだした私にとっては、相当衝撃的な出来事の連続でした。学校や先生はこの状況を知ってい

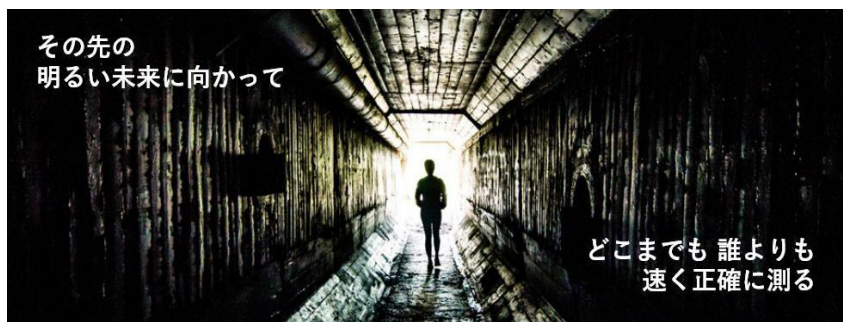
るだろうか？と落ち込みました。授業にも身が入らず登下校の足も重かった記憶があります。校舎の中、或いは街中を歩いて高校生が来たら、真っ先に襟章の確認、そして即！挨拶。1年生時代はそんな毎日でした。でも私たちが2年生になった頃には、やき入れの話はあまり耳に入らなくなりました。この頃から下火に成っていたのかも知れません。六華同窓会で後輩に聞いたらやき入れの経験は無かった様で良かったなあと思いました。そんなやき入れでしたが「功」は一つ、それは礼儀・挨拶です。社会へ出てからは同僚、上司、得意先と、どこへ行ってもどんな場面でもきちんとそれなりに礼儀正しい行動が取れたと思り返しています。

## 散策「松姫と八王子千人同心」に参加して 大澤哲司 (電 s43)

今回は、「松姫と八王子千人同心」のテーマで、一昨年の「武田勝頼最期の地を訪ねて」の関連第2部として、武田信玄の息女松姫と家臣団の足跡を訪ねるという歴史散策でした。好天に恵まれた11月18日朝9時半、高尾駅前に集合した参加者12名が櫻井さんの先導車と篠原さん、菅原さん運転の2台のレンタカーに分乗し、散策スタートしました。

まずは「八王子城址(ガイダンス施設)」へ、八王子城は北条氏政の弟である北条氏照の居城で豊臣秀吉の小田原合戦時に前田利家らに攻められ落城しました。

「金照庵跡」は、武田勝頼自害の後、松姫は兄勝頼の



「はかる」をキーワードに事業を展開

建設計測技術・機器の開発

地図に関連する情報システムの開発

測量・計量・設計製図用品の販売

**NETrise**

有限会社ネットライズ

代表取締役

ふたつや  
二ツ屋 清一 (機械42年卒)

http://netrise.co.jp 〒103-0004 東京都中央区東日本橋 1-3-5 三光ビル 3F Tel: 03-5856-3008 Fax: 03-3865-1282

夫人が北条氏政の妹ということもあって北条氏照の支配下である八王子へ庇護を求め、大菩薩峠など深山を越えて檜原城を経て苦難の末、幼子3人を連れて甲斐脱出、最初に着いた場所(上恩方)の跡です。この地に滞在中、松姫との婚約が破談になった織田信忠からの文が届き、迎の輿を待っていたが、「本能寺の変」で信忠が亡くなってしまい、またまた期待が裏切られてしまいました。

次に訪れた「心源院」は、松姫が尼になることを決心して剃髪して「信松尼」として身を寄せたところです。

「下原刀鍛冶発祥の地の碑」は、武州下原刀を製作



後列：篠原(土s43) 松崎(土s43) 田中(建s43) 佐々木(機s45) 菅原(機s45) 前列：岡山(機s35) 山崎(工化s35) 野本(機s43) 大澤(電s43) 石堂(土s39) 櫻井(通s38) 三橋(工化s41)

する刀鍛冶集団が室町時代からここ下恩方周辺で刀剣を製作していて、丈夫で良く切れる実戦向きの刀と言われていたそうです。途中、街道筋の町中華屋で昼食となりましたが、この店はサービス満点で料理の量が半端ない多さに仰天、完食できずに店を出ました。

午後の始まりは「桂福寺」へ、天然理心流の初代と二代目のお墓がありました。近藤勇の処刑でこちらに累が及ぶことを恐れてこの墓を埋めたそうですが、100年後に掘り起こしたそうです。墓石は粉碎されていたため、復元した墓石には継ぎ合わせた跡が見られました。

「松信院」は、松姫の縁の寺で旧武田家臣たちの援助を受けて建立され、院号は松姫の法名「松信尼(しんしよに)」に由来します。

「本立寺」は、千人同心で蝦夷の開拓に従事した原胤敦の墓があり、墓前に姉妹都市の勇払(苫小牧市)から贈られた顕彰の石灯籠がありました。

「宗格院」は、津田塾設立の津田梅子につながる千人

同心組頭の栗沢家の墓や蝦夷地開拓(勇払)に尽くした河西祐助の顕彰碑がありました。苫小牧市民会館にある銅像「夜泣きの梅さん」の夫とのことです。

「興岳寺」は、幕末の戊辰戦争で千人同心が日光勤番中に迫る官軍に対し、無血で明け渡し、東照宮を戦火から救ったが、戦わずに明け渡した責めを受けて八王子の自宅で切腹した千人頭・石坂弥治右衛門の墓所がありました。

今の日光東照宮が残っていて世界遺産として登録され、世界中からのインバウンド客で賑わっていることと思うと感慨深いものがあります。結果として、彼らは正しい判断をしたのではと思います。

そして、ここで今回の散策

を終わりました。今回の散策では、戦国時代から幕末に至る日本の歴史の中で、その後の武田家がよく分かる史跡巡りででした。私自身は八王子千人同心については勇払にそのような話があったなという程度の知識しかありませんでしたが、今回の櫻井さんの資料と現地を巡ってよく分かりました。織田信長との関係と「本能寺の変」が松姫に与えた悲哀の物語、武田家滅亡と秀吉の小田原攻め、そして家康の関東移封。

家康は、「三方ヶ原の戦い」で武田の強さを知っていたので、武田家の旧臣への処遇が武士団として甲州道警備のために八王子へ配置、これが八王子千人同心となったこと。そして関ヶ原参陣、日光勤番、蝦夷地の開拓と警備、これが勇払(苫小牧)とのつながりとなったこと、同心たちの武芸としての「天然理心流」の広まり、その後の新撰組などが絡み合っていたことなどと知識を深めつつ、散策を楽しく無事に終えました。最後には駅前ファミレスにて全員で喉と疲れを癒やしました。

今回の散策の準備や現地のガイドをしていただいた櫻井さん、また、レンタカーの運転をしていただいた篠原さん、菅原さん、誠にありがとうございます。



勇払千人同心と梅女(苫小牧市民会館)

# SANKO

管・消防施設・土木・建築工事

## 有限会社 三興エンジニアリング

代表取締役 鈴木 正夫 (機械 43 年卒)

〒373-0035 群馬県太田市藤久良町 48-49  
TEL:0276-31-3499 E-mail:sankoeng035@ad.wakwak.com

**「六華会 親睦ゴルフコンペ」開催しました**

今年も秋晴れの絶好のゴルフ日和となった10月2日、南総ヒルズ CC に3組・13名の精鋭が集い、元気で賑やかな懇親ゴルフコンペが開催されました。



今年も、建築 S39年卒の高橋孝幸さんが初参加、高橋さんは10年ほど前に暖かく住みやすい地を求めて北海道から藤沢に移住、車で10分ほどの芙蓉カントリークラブで毎週2回プレーしているという無類のゴルフ好き。アップダウンの多い初めての南総ヒルズ CC でも80台でまとめ、ニアピン賞も2個獲得し、実力の片鱗を披露しました。

結果はグロスで3桁を叩いたものの、ロングホールで叩いた12打、9打が隠れていたため高ハンデをゲットした橋本雅人さんが連覇を達成しました。

2位には本コンペの相性はあまり良くない実力者菅原雅和さん(西8番でイーグル)、3位には BG 賞も獲得した福澤光男さんが入りました。

前回2位の南部さんは、グロスは改善したもののハンデに恵まれず上位入賞は逃しました。

本コンペは六華会の公式行事になったことから、今年から六華会より補助金が提供されました。

今回、11名の前泊者が菅原シェフの手料理で多くのアルコールを消費し、お酒とともに会話が弾み大いに盛り上がりました。

前泊の皆さんから美味しい日本酒、ワイン、焼酎、ウイスキー、バーボンウイスキー、松前漬け等の提供を頂き誠にありがとうございました。次回も多くの皆さんの参加をお待ちしております。ご協力ありがとうございました。

(記: 篠原・菅原・福澤)

**我がまち府中 —歴史と自然に出会えるまち—**

府中市は、東京都の多摩地域中部に位置する人口約26万人の市で、新宿から22km 西方の東京都のほぼ中央に位置し、市名は西暦645年の大化の改新以降、武蔵国の国府が置かれたことに由来し、「国府の中」ということで「府中」という地名がついており、他の国府・府中と区別するため武蔵府中と呼ばれることもあります。

鎌倉時代末期は合戦の舞台となり、江戸時代には甲州街道の宿場町として栄え、明治以降は郡役所が置かれるなど、歴史に由来する遺跡が多くあり、また、市域のほとんどが居住に適した平地でありながら、河川に野山、数多くの広い公園や農地緑地など、多くの緑を有し自然いっぱいの「まち」です。

多くの歴史的な見どころの中から数か所と東京競馬場を思い出と併せてご紹介いたします。

**大國魂神社と「くらやみ祭り」**

武蔵国の総社で東京五社の一社です。また、武蔵国の一之宮から六之宮までを合わせ祀るため、「六所宮」とも呼ばれています。

当社の創建は景行天皇41年(西暦111年)5月5日と伝えられており、大化の改新の際に現在の場所に国府を置いたと言われています。源頼朝が妻の安産祈願をし、また源頼義と義家が奥州戦に向かう際に戦勝を祈願したなどの伝承があります。例大祭は、東京都指定無形民俗文化財に指定されている「くらやみ祭り」で、関東三大奇祭の一つに数えられています。



大國魂神社 (中雀門から拜殿を望む)



ちゃんこ  
**盛太**  
SEITA

町田市南成瀬 5-1-7 中島ビル  
TEL042-785-4777  
営業: 17:00~ 定休: 木

## 分倍河原古戦場

京王線 中河原駅より南西に徒歩約10分のところにあり、分倍河原の戦い(ぶばいがわらのたたかい)が行われた合戦の地で、鎌倉時代後期の元弘3年(1333)5月、上州(群馬県)に討幕の兵を挙げた新田義貞は、鎌倉幕府軍を打ち破りながら南下、5月16日府中の分倍河原(ぶばいがわら)で北条泰家率いる幕府軍を下し一気に鎌倉に攻め込みました。「太平記」によれば、このときの新田軍は10万、対する幕府軍はこれをやや上回ったと記されています。

鎧(よろい)姿の騎馬武者が旗指物をなびかせて闘ぎあったのでしょう。昨年7月末に散策で訪れた相馬野馬追を思い出しながらの筆述でした。



分倍河原古戦場碑

## 武蔵府中熊野神社古墳

JR 南武線 西府駅より北に徒歩約10分、甲州街道(国道20号)沿いにあり、飛鳥時代の7世紀の中頃(今から約1,350年前)に築造された古墳です。四角い墳丘の上に丸い墳丘が重なった形で、日本国内でも3例しかない上円下方墳(じょうえんかほうふん)という貴重なもので、他の2例(奈良県、静岡県)が7世紀後半～8世紀前半とされるのに対し、この古墳は7世紀前半と判明し、上円下方墳では国内最大で、最古級の古墳です。

2005年7月に国指定の文化財(史跡)に指定されています。

## 東京競馬場(府中競馬場)

京王線「府中競馬正門前駅」から専用歩道橋にて正門まで徒歩約2分、JR 武蔵野線/南武線「府中本町駅」臨時改札口から専用歩道橋にて西門まで徒歩約5分のところにあり、スポーツ施設としては、アメリカのイ

ンディアナポリスサーキット場の25万人に次ぐ世界第二位の規模で、これまでの最大入場者数はなんと、196,517人(1990年日本ダービー)と言われ、新馬戦から日本ダービーやジャパンカップなどのG1まで幅広いレースが開催されている競馬場です。



東京競馬場 全景

最終の4コーナー約100mを過ぎたところが2m余りのくぼ地になっており、平地で観戦すると、一瞬馬群が消え、首を上下に大きく振りながら坂道を駆け上がり、次第に姿を現す様は圧巻です。

当競馬場は馬と触れあえるイベントが開催されたり、日吉が丘公園、競馬博物館があったりと、競馬以外の楽しみも用意されているため多くの家族連れの姿が見られます。

随分以前ですが、実家や近所また親戚の生産馬がG1レースに出走したこと、さらに、田舎で近所の蓑田隼人騎手がオンワードガイやヤマブキオー等に騎乗し出走等、若干競走馬に興味があったため、たまにG1レース観戦に訪れひたすら奉仕したことが思い出されます。

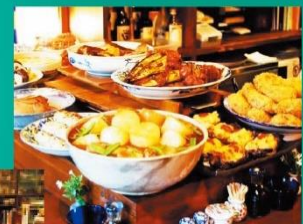
現在は府中本町駅から西門まで専用歩道橋になっていますが、以前は住宅の間を通る道幅3m弱の狭い道路でした。この道路脇のアパートに住んでいましたが、G1レースに限らず朝は6時頃から来場者の姿が多く見られ、レース終了ともなると年末のアメ横のごとく帰宅する観客で道一杯になり、1時間程外に出られずひたすら我慢を強いられたことが、今では懐かしい思い出になっています。

記：吉田 秀夫(電s39)

何故国府がここに？ 上円下方墳は誰の？ 等々  
いつか歴史散策で訪れて見たい所です(散策の会)

日々異なる20種類以上のおばんざい大皿料理をご用意！ 大人の隠れ家！

ふるさとの味 **堂** (ほたる)



〒103-0014

東京都中央区日本橋蠣殻町2-5-4

パークハイツ日本橋蠣殻町2F

地鉄半蔵門線水天宮前 5番出口から1分

TEL: 03-5652-5988

定休日：日曜日/連休になる祭日

営業時間：昼 11:00~14:00 夜 17:00~23:30

## 同期会便り

(皆さまからの投稿をお待ちしています)

## 電気s43卒 クラス会を開催しました

令和5年10月14日(土)、苦工創立100周年の記念祝賀会の後、昭和43年卒業から丸55年を記念したクラス会を北海道苫小牧市の「ホテルウイングインターナショナル苫小牧」で道内外から22名が参加して盛大に開催しました。

当日は内田本部副会長から、学校創立年である1923年物ブランドの差入れもあり大変盛り上がり旧交を温めることが出来、来年も元気に後期高齢者(“好季好齢者”:榎原さんのネーミング)を迎えるクラス会の再会を誓った。

(記:首藤 真史)



上段:熊倉、首藤、榎原、蹴揚、梅村、塩見、松本  
中段:宇良田、竹本、新井山、柄沢、後藤、酒井、柁木  
下段:永井、小田切、大澤、石原、内田、土居、斉藤、千引

## 機械s45卒 B 組のクラス会を開催しました

令和5年10月23日、関東圏在住者4名、北海道在住者5名の9名が支笏湖・丸駒温泉に集合しました。露天風呂につかりながら恵庭岳に沈む夕日に心洗われ、夕食時には昔話に花を咲かせ美味しいお酒と料理を堪能しました。

7年振りとなる参加者の殆どがフリーで、趣味やボランティアで日々の生活を楽しんでいるとの事。いつも幹事をしてくれる新見君は、苦工サッカー部、社会人、シニアサッカーと56年間のサッカー生活、昨年もシニアサッカー全国大会出場、お酒とサッカーをこよなく愛するタフガイ。

菅原君は、ゴルフの年間プレー数は100ラウンド超え、

編集後記: 苦工創立100周年記念事業のイベントも無事に終了し、新年度からは新たな陣容でスタートする見込みです。これまでのご支援・ご協力に深く感謝すると共に、今後も引き続きよろしく願いいたします。

85歳までのエージシュートを目指し日々鍛錬。

佐々木明君は相模原地域のボランティア団体に加入し活動、さらにウクレレサークルで大舞台での公演のために練習に励んでいるとの事。

野尻君は横浜市泉区のサッカー連盟の会長を務めており、子供達の育成に力を入れているとのことでした。

2次会は、幹事の新見君が用意したお酒、つまみで大いに盛り上がりましたが、お酒が底をついたため、地藏君が非常用にと車に積んであった甲類焼酎と午後の紅茶割りを提供、これが格別に美味しかったので、以降当方の晩酌の仲間入りをしました。

苦工創立100周年記念で作製した、関東六華会の記念バスタオルを北海道在住者にプレゼントし喜んで貰いました。次回は後期高齢者の仲間入り後に、苫小牧で再会を約束して帰路につきました。

(記:福澤 光男)



左から:酒井、地藏、菅原、福澤、新見、野尻、白取、佐々木、服部

地藏さんから:

ありがとう 早速使ってま〜す



## 苦工同窓会支部「関東六華会」

令和6年度

総会・懇親会開催のご案内

開催日時 6月22日(土)

午前11時30分～  
(受付11:00～)開催会場 銀座ライオン七丁目店6階  
銀座クラシックホール

“母校を想い、さらなる絆を”

<https://tomako.org>